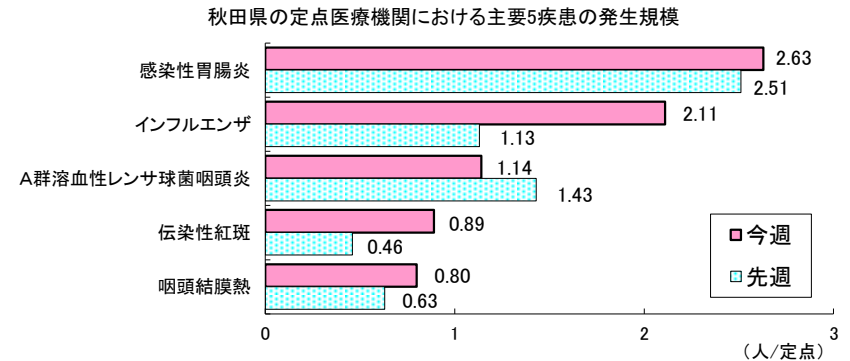




【第50週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で5%増加しています。保健所別では、大館、由利本荘、大仙、横手、湯沢で増加、秋田市で同規模、北秋田、能代、秋田中央で減少しています。
2. インフルエンザは、県全体で87%増加しています。保健所別では、北秋田、能代、秋田中央、由利本荘、横手、湯沢で増加、秋田市、大館、大仙で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で20%減少しています。保健所別では、由利本荘、大仙で増加、湯沢で同規模、秋田市、北秋田、能代、秋田中央、横手で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢					
	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減	第49週	第50週	増減						
RSウイルス感染症	0.40	0.46	↗	1.00	0.43	↘							0.33	0.33			0.25	↗	0.25	0.25		0.50	0.25	↘	0.33	1.33	↗	0.50	1.25	↗			
インフルエンザ	1.13	2.11	↗	2.36	1.45	↘	2.57	2.43	↘	0.67	2.33	↗	1.50	12.75	↗	0.67	1.50	↗	0.17	1.33	↗	0.43	0.29	↘	0.20	0.40	↗		0.40	↗			
咽頭結膜熱	0.63	0.80	↗	2.14	2.71	↗	0.50		↘	1.00	0.50	↘							0.25	1.50	↗	0.50	0.50										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.43	1.14	↘	2.57	2.00	↘				0.50		↘	1.67	0.33	↘	3.50	3.00	↘	0.50	0.75	↗	0.75	1.50	↗	1.33	0.33	↘	0.75	0.75				
感染性胃腸炎	2.51	2.63	↗	3.71	3.71		1.50	3.00	↗	2.50	1.00	↘	6.67	3.00	↘	2.50	1.75	↘	0.75	1.50	↗	2.00	2.50	↗	1.33	4.33	↗	1.50	1.75	↗			
水痘	1.17	0.34	↘	1.43	0.71	↘	3.00		↘							0.50	0.50		0.50		↘	0.25		↘	1.33	0.33	↘	2.50	1.00	↘			
手足口病	0.11	0.23	↗		0.14	↗	0.75	0.75											0.25	0.75	↗								0.25	↗			
伝染性紅斑	0.46	0.89	↗				4.00	7.75	↗																								
突発性発しん	0.31	0.11	↘	0.86	0.14	↘	0.25	0.25		0.50		↘							0.25	0.25					0.67		↘		0.25	↗			
ヘルパンギーナ	0.29	0.09	↘	0.29	0.14	↘				1.00		↘													0.33	0.33		1.25	0.25	↘			
流行性耳下腺炎																																	
川崎病		0.03	↗																	0.25	↗												
急性出血性結膜炎									*	*			*	*		*	*											*	*				
流行性角結膜炎	0.14	0.14		0.33	0.33					*	*		*	*		*	*											*	*				
細菌性髄膜炎																*	*																
無菌性髄膜炎																*	*																
マイコプラズマ肺炎	2.25	1.75	↘	2.00	2.00					7.00	5.00	↘	2.00	3.00	↗	*	*		2.00	1.00	↘	2.00		↘	2.00		↘	2.00		↘	1.00	3.00	↗
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*																
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*																

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から4人、報告されました。
- ・四類感染症のE型肝炎が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のアメーバ赤痢が湯沢保健所管内から1人、侵襲性肺炎球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から3人、横手保健所管内から6人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-49週 全国	秋田	50週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	20427	130	5
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
鳥インフルエンザ(H7N9)				
三類	コレラ	4		
	細菌性赤痢	253	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3768	56	
	腸チフス	34		
	パラチフス	22		
四類	E型肝炎	418	3	1
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	898		
	エキノкокクス症	12		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	6		
	キャサヌル森林病			
	Q熱	3		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	76		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎	1			
炭疽				

(人)

類型	疾患名	(人)		
		1週-49週 全国	秋田	50週 秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	354	5	
	デング熱	191		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	297		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	3		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	2		
	マラリア	47		
	野兔病			
	ライム病	13	1	
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	2034	9		
レプトスピラ症	30			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	780	1	1
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	244	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2099	9	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	128		
	急性脳炎	605	6	
	クリプトスポリジウム症	24		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	200	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	640	5	
	後天性免疫不全症候群	1198		
	ジアルジア症	66	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	447	6	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	32		
	侵襲性肺炎球菌感染症	3057	17	1
	水痘(入院例に限る)	420	7	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	6505	16	
	播種性クリプトкокクス症	167	1	
	破傷風	122		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	73		
百日咳	10782	105	9	
風しん	2586	5		
麻しん	274			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	23			

トピック

<百日咳に注意しましょう>

平成30年は、12月16日時点で、百日咳の報告数が全国で1万件、秋田県でも100件を超えています(表)。百日咳の原因となる百日咳菌は感染力が強いため、学校などの集団生活をする場で容易に感染が広がる可能性があります。今後の流行状況に注意し、感染予防に努めましょう。

■症状

感染してから通常5~10日間の後、鼻水、咳、発熱といったかぜ様の症状が現れ、1~2週間をかけて次第に咳が激しくなります。典型例では、顔を真っ赤にして「コンコン」と激しく咳込み、息を吸うときに「ヒュー」と音が出ます。症状は少しずつ改善していきますが、回復まで数か月かかることがあります。

生後1歳未満の乳児が百日咳にかかると重症となり、特に新生児では咳によって呼吸ができず、命に関わることもあります。一方、小学生以上の子どもや大人では、比較的軽症なことが多く、知らないうちに周囲に感染を拡げてしまう可能性があります。

■治療

適切な抗菌薬の治療により、服薬開始から5日後には菌の排出はほぼなくなると考えられています。医師の指示に従い、処方された期間はしっかりと服薬しましょう。

■予防

1)ワクチン

百日咳の予防対策はワクチンの接種が基本となります。ワクチンは、現在定期接種が行われている四種混合ワクチンによって、ジフテリア、破傷風、ポリオのワクチンと併せて接種されます。重症化しやすい乳児を百日咳から守るため、生後3か月になったら早めにワクチン接種を受けるようにしましょう。

2)標準予防策

感染経路は患者の咳やくしゃみのしぶきを吸い込むことによって感染する飛沫感染と、咳などのしぶきが付着したものに触れた手とおして口や鼻から感染する接触感染です。次のことを徹底し、感染を予防しましょう。

- ・手洗いをしっかり行う。
- ・マスクを着用する。
- ・咳エチケット(とっさの咳やくしゃみは、手ではなく袖や衣服の内側でカバーする)を守る。
- ・かぜ様の症状がある場合は、新生児や乳児にはできるだけ近づかない。

表 2018年百日咳の届出報告数(件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月*	合計
全 国	208	252	343	429	781	958	1,136	1,673	1,343	1,383	1,956	320	10,782
秋田県	4	4	0	5	3	2	2	4	9	13	49	19	114

* 全国は第49週(～12/9)、秋田県は第50週(～12/16)現在



2018年/2019年シーズン (2018年第36週: 9月3日~) インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

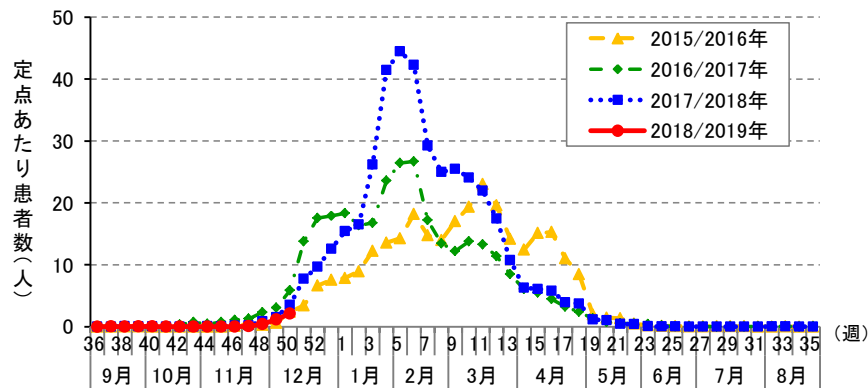


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が1件報告されました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数		
			利用者(園児)	職員	計
北秋田市	鷹巣中央保育園	12/10	123名のうち10名	32名のうち0名	10名

○今シーズンの報告状況
累計施設数 4: 保育所 4

<参考>
○昨シーズンの報告数
累計施設数 170: 社会福祉施設 44、保育所・幼稚園 119、病院 7

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2018/2019シーズン
秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)			
秋田県		全国	
12/10~12/16 (50週)	累計	12/3~12/9 (49週)	累計
0	2	88	383

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8カ所、全国約500カ所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

感染症の集団発生報告

溶連菌感染症による集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間
			利用者	職員	計	
潟上市	昭和こども園	12/11	163名のうち10名	58名のうち0名	10名	12/5 ~ 12/11



感染性胃腸炎情報

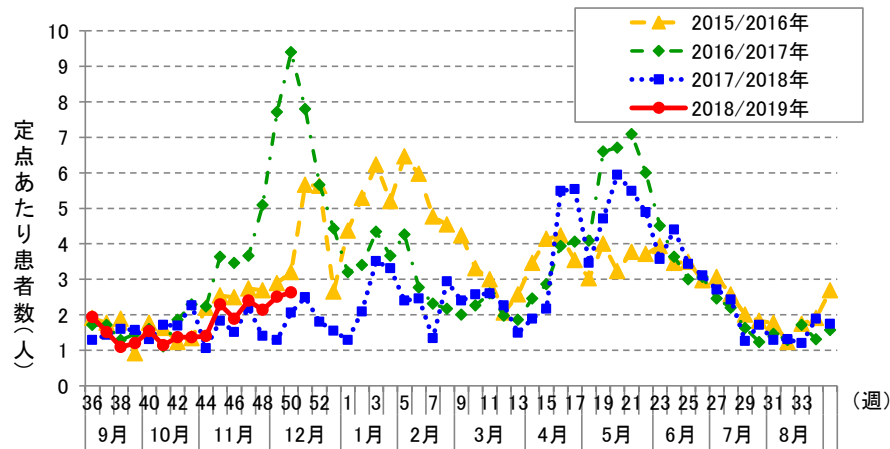


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

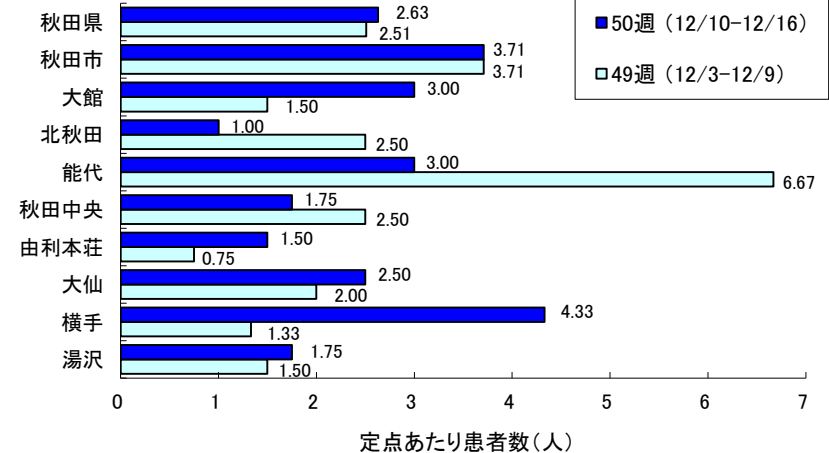


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児)	職員	計			
29	由利本荘市	石脇西保育園	12/10	203 名のうち 13 名	50 名のうち 0 名	13 名	12/4 ~ 12/10	嘔吐・下痢	1名からサポウイルス、2名からノロウイルスを検出

【感染性胃腸炎の集団発生状況】
 ○平成30年度 29施設 発症者 427名
 保育所・幼稚園 29
 <参考>
 ○平成29年度 42施設 発症者 637名
 社会福祉施設 8、保育所・幼稚園 34

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	能代(12.75)	-
水痘	-	湯沢(1.00)
伝染性紅斑	-	大館(7.75)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		